

基本情報

指標番号
0655

名称
精神科入院症例のうち、睡眠薬の退院処方単剤または2剤である割合

分母
主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に睡眠薬が含まれる症例数

分子
分母のうち、退院時処方に睡眠薬の退院処方単剤または2剤である症例数

指標群
精神科

意義
向精神薬の過量処方や過量処方による副作用に対する安全性指標（プロセス指標）診療報酬（精神科継続外来支援・指導料）において、1回の処方で3剤以上の睡眠薬を投与した場合には、所定点数の100分の20の点数が減算される。

年度
2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット
DPC 様式 1,EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、主に精神科疾患の治療のために入院した症例 最も医療資源を投入した病名の ICD-10 コードが F\$ である症例

ICD-10 コード	病名
F\$	精神および行動の障害

3. このうち、退院処方に睡眠薬（注射薬を除く）が処方された症例。以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例 退院時処方方の判定： 2010年度～2015年度：FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」 2016年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

薬価基準コード7桁	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
1121001	プロモバレリル尿素	プロバリン原末	○	○	○	○	○	○	○
1123001	抱水クロラール	抱水クロラール	○	○	○	○	○	○	○
1124001	エスタゾラム	エスタゾラム錠 1mg 「アメル」	○	○	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
1124002	フルラゼパム塩酸塩	ダルメートカプセル15 15 mg	○	○	○	○	○	○	○
1124003	ニトラゼパム	ニトラゼパム錠10 mg 「JG」	○	○	○	○	○	○	○
1124004	ニメタゼパム	エリミン錠3 mg	○	○	○	○			
1124005	ハロキサゾラム	ソメリン細粒1%	○	○	○	○	○	○	○
1124007	トリアゾラム	トリアゾラム錠0.125 mg 「EMEC」	○	○	○	○	○	○	○
1124008	フルニトラゼパム	サイレース錠1 mg	○	○	○	○	○	○	○
1124009	プロチゾラム	プロチゾラムM錠0.25 「EMEC」 0.25 mg	○	○	○	○	○	○	○
1124010	ロルメタゼパム	エバミール錠1.0 1 mg	○	○	○	○	○	○	○
1124030	クアゼパム	クアゼパム錠15 mg 「MNP」	○	○	○	○	○	○	○
1125001	アモバルビタール	アモバルビタール	○	○	○	○	○	○	○
1125002	バルビタール	バルビタール	○	○	○	○	○	○	○
1125003	フェノバルビタール	フェノバル散10%	○	○	○	○	○	○	○
1125004	フェノバルビタール	フェノバルエリキシル0.4%	○	○	○	○	○	○	○
1125006	ペントバルビタールカルシウム	ラボナ錠50 mg	○	○	○	○	○	○	○
1129004	トリクロホスナトリウム	トリクロリールシロップ10%	○	○	○	○	○	○	○
1129006	リルマザホン塩酸塩水和物	リスミー錠1 mg	○	○	○	○	○	○	○
1129007	ゾピクロン	アモバンテス錠10 10 mg	○	○	○	○	○	○	○
1129009	ゾルピデム酒石酸塩	マイスリー錠10 mg	○	○	○	○	○	○	○
1129010	エスゾピクロン	ルネスタ錠1 mg		○	○	○	○	○	○
1126001	臭化カリウム	臭化カリウム	○	○	○	○	○	○	○
1190016	ラメルテオン	ロゼレム錠8 mg	○	○	○	○	○	○	○
1190023	スボレキサント	ベルソムラ錠20 mg			○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
1190027	レンボレキサント	デエビゴ錠 5mg						○	○

- このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「0 不明、4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。
- 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

- 退院時に処方された睡眠薬の薬剤種数（成分名でカウント）が2種類以下の症例 上に示された退院時処方として、退院時処方された薬剤の成分名が2種類以下

その他

薬剤一覧の出力

いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

- 薬価基準コードに対する成分名は厚労省ホームページより取得
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>

参考資料

参考値

- オーストラリア（ACHS）では平均値で 86.4 日本の処方実態調査では、2009年データで睡眠薬 93.9

参考資料

- Australian Council on Healthcare Standards (ACHS). Australasian Clinical Indicator Report 2003 - 2010 12th Edition Mental Health Inpatient, version 6 Clinical Indicators
http://www.achs.org.au/media/3871/MentalHealthInpatient_www.pdf (2013年1月4日アクセス可能)
- 三島和夫, 片寄泰子, 榎本みのり, 他. 診療報酬データを用いた向精神薬処方に関する実態調査研究. 平成 22 年度厚生労働省科学研究費補助金 特別研究事業 向精神薬の処方実態に関する国内外の比較研究分担研究方向書. 2010 年. <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001tjq1.html> (2013年1月4日アクセス可能)

3. 厚生労働省.過量服薬への取り組み-薬物治療のみに頼らない診療体制の構築に向けて 2010年 www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/jisatsu/dl/torimatome_5.pdf (2013年1月4日アクセス可能)
4. 薬剤の分類について下記参照 (改訂に際しては、同著者、日本精神神経学会/日本精神神経薬理学会による最新情報を随時参照のこと) Toshiya Inada et al. Psychotropic dose equivalence in Japan. *Psychiatry Clin Neurosci.* 2015; 69(8):440-7. Doi: 10.1111/pcn.12275.